

皆様、先日雪も降りましたが、いかがお過ごしでしょうか。  
年末になり、色々2019年を振り返りつつ書いてみたいと思います。

近況ですが、12月16日に高島小学校6年生の生徒さんにごん教育の授業をさせていただきました。

何回か、このコラムでも書きましたが、未来を担う生徒さん達へのごん教育に携わることができるのは、私にとっては大変うれしいことでもあります。

授業では『細胞』とか『遺伝子』とか一切習っていない小学生の方々にどのように伝えたいか思案して望みましたが、概ねご理解いただけた様子でよかったと思っています。学校の先生方には準備その他で協力いただき大変助かりました。これで、小学生、中学生、高校生と、ごん教育の対象となる生徒さん達各年代に院外講師として授業を受け持たせていただく経験を積むことができました。

年明けにも市内の中学校から機会をいただけるということで2020年以降も引き続き、ライフワークのひとつとしてとりくんでいけたらと思っています。



がんゲノム医療への取り組みについて続報です。

当院で保険診療でのがん遺伝子パネル検査を受け付けられるように引き続き準備を進めています。施設認定への日程が当初の見通しから変化したこと（おおよそ昨年より制度の変化もあり数ヶ月～6ヶ月の遅れ）、その他整えておく事項などがあることから、本来もうすぐとお伝えしたかったところなのですが、春先までずれ込んでしまう見通しです。

保険診療外での同検査については、これまでも実施可能な施設へご紹介できますので、お急ぎの場合、その方が必要なお金は多くかかってしまいますがよいように思います（どうしたらいいかわからない場合は、当科：腫瘍内科でご相談にのれます）。

当院の放射線治療措置の改修が終了し、がん診療をする立場としては心強い状況になっております。当科は薬剤による治療が主体ではありますが、放射線治療に限らず、外科手術も含めて適切な治療を提案しており、自施設でこれらがまかなえることは重要だと思います。

がん治療については、様々な新しい波もきており、今後治療体系が大きく変わるかもしれません。そうした流れをきちんととらえ、この諏訪という皆様の住み慣れた土地で、大都会に負けない治療が提供できる体制を、他科とも連携して維持していきたいと思っています。

少し早いですが、皆様よいお年を。